

2026 年度入学試験 理科 第2回

問題	得点率 (%)	問題	得点率 (%)	問題	得点率 (%)	問題	得点率 (%)
1	(1)	2	(1)	3	(1)	4	(1) a
	(2)		(2)		(2) ①		b
	(3)		(3) い		②A		c
	(4)		う		②B		(2)
	(5)		(4)		②C		(3)
	(6) ①		(5) え		②D		(4)太陽の動き
	②		お		(3) ①		東
	③		か		②		(5)
	(6) ①		(6)				
	②						

合格者最高点 72
合格者最低点 33

1 物理分野からの出題です。レンズを通る光に関する問題です。

- (1) 基本的な問題でした。もう少し高い得点率を期待していました。
- (2) 基本的な問題でした。この問題ももう少し高い得点率を期待していました。
- (3) 表とグラフの読み取りができていないかを聞く問題でした。よく解けていました。
- (4) 「レンズを通った後の光が平行に進むこと」もしくは「レンズを通った後の光がどこでも集まらないこと」が言えていれば正解となります。
- (5) (3)の考え方をを使う問題でした。(3)が解けた人には解けてほしい問題でした。
- (6) ①(1)と似た問題ですが、よく解けていました。
 - ②2個のレンズで応用レベルが上がり、正答率は低くなりました。
 - ③②同様に正答率は低くなりました。

2 化学分野からの出題です。沈殿の量に関する問題です。

- (1) 基本的な問題でした。非常によく解けていました。
- (2) グラフから法則を見つける問題です。非常によく解けていました。
- (3) (2)同様、非常によく解けていました。
- (4) 気体の圧力を考えるやや難易度の高い問題でしたが、非常によく解けていました。
- (5) 体積も圧力も変化するようになり、考えるのが難しくなったようです。正答率は低くなりました。
- (6) (5)同様に、正答率は低くなりました。

3 生物分野からの出題です。イネに関する問題です。

(1) 文章読み取りと思考力が必要な問題でしたが、正答率は想定より高くなりました。

(2) ①文章からの情報を使う問題でしたが、非常によく解けていました。

②日常的な知識も求められる問題でしたが、よく解けていました。

(3) ①細かな違いを判断するのが難しい問題でした。正答率は想定より低くなりました。

②問題文より、「大気成分への影響」と「その影響による地球の環境の変化」に触れて答えればよいことが分かります。それぞれのポイントが書けていれば2点加点とし、解答例としては、「シダ植物の光合成によって二酸化炭素が減少し、地球の気温が下がった。」などとなります。正答率は想定より低くなりました。

4 地学分野からの出題です。天体に関する問題です。

(1) 知っている人は少なかったと思いますが、非常によく解けていました。

(2) 基本的な問題でした。非常によく解けていました。

(3) 知識と思考力が問われるやや難しい問題でしたが、正答率は想定より高くなりました。

(4) (3)と連動する問題であったため、(3)ができた人にはわかりやすかったようです。

(5) (3)、(4)と連動する問題でした。影を考える分、思考力が求められる問題でした。

(6) 計算を含む図形問題でしたが、想定よりもよく解けていました。